

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス アクロスJOY		公表日	令和8年3月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法令を遵守したスペースを確保している。課題に集中できるよう刺激が少なく情報が効果的に伝わる環境設定を心がけている。	継続して集団で運動サーキットを行う際には手狭に感じるため、1度に取り組む人数を制限しケガを防止する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			配置基準は満たしているが、より良い支援が出来るよう人員の増員を検討する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		事業所内の定例会議にて、子どもたちの特性に合わせて、必要な環境設定を検討している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティション等を必要に応じて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		目標設定や療育の振り返りには全職員が参加し、意見を出し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日頃より職員間で業務の効率化に努めて意見交換しながら業務にあたっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価は現在受けていないが、必要に応じて検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に必要な研修や療育研究を行っている。	職員配置で可能な限り、外部研修にも参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		療育説明にてプログラムの全容を説明している。令和7年3月にホームページにて公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		お子様と保護者の方のニーズを聞き取り、個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画の作成時と児童の処遇会議にて、職員間で意見を出し合い、必要に応じて見直し等を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		全利用児童の支援内容に、5領域の視点を取り入れた個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動がマンネリ化しないために、固定化したプログラムと週によって変わる活動を、全職員が意見を持ち寄って組み立てている。	地域の資源や外部講師等を招いた活動を取り入れていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		曜日によって個別での支援と集団での活動を分けており、お子様に合わせ活動内容や目標を変えている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	療育前にその日の打ち合わせを行い、支援内容や担当の確認を行っている。	午前中から支援がある時は、送迎に出る職員等が打ち合わせに出られないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		翌日に前日の支援の振り返りを行い、課題や対応策を検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		利用日の様子は毎日記録をとり、定期的に振り返り、支援の見直し等を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		個別支援計画作成時に決定した時期にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		1か月を通して、4つの基本活動を組み合わせさせた活動を計画している。	
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子ども同士で相談して遊びを決めたり、複数の選択肢から自分で選択して活動に取り組む時間や活動を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		なるべく児発管だけでなく、多方面から意見が出せるよう携わる職員複数で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保護者の方や、関係機関(学校)からの要請があった時、必ず出席して情報共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて、担任の先生と直接の情報交換や、保護者の方を介しての情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じて適宜行っている。関係各所より要請があった場合は、保護者の方の承諾を経て積極的に情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		現在ケースがないが、今後必要に応じてスムーズなサービスの移行ができるよう記録と体制を整える。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		研修等がある場合、職員の希望に応じて参加できる体制を整える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	児童館や公園等での活動を通して、地域の子ども達と関わる機会を作り、安全に遊びを展開できるように必要に応じて仲介している。	保護者の方や利用児童のニーズに合わせて企画していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		招集があった際には積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の様子は送迎時に様子を共有している。また必要に応じて見学や面談も受け付けている。	送迎の時間は限られており、また文面では伝わらない部分があるため、面談の機会を増やしていく。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	面談等により、ご家庭での対応方法に困っている相談を受けた際は、お子様の状況に合わせた手立てを助言している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際に説明を行っている。	すでに他事業所を利用している方に対して、確認の意を込めて丁寧な説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		モニタリング時に本人の希望や、保護者の方の意向を聞き取り、計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		モニタリング時に確認した意向を追記・修正し、同意を得て計画を配布している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		活動の様子をお伝えする中で、相談に応じたり、面談等の機会を設けたりしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者会等はご家庭によって希望が異なるため、任意で保護者の方やご兄弟も参加し交流が出来るイベント等を企画していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情窓口(担当者)を設けて、速やかに情報が集まり適切に対応できるよう努めている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		長期休みは行事予定表を発行し、各ご家庭へは公式LINEにて連絡事項の共有を行っている。	Instagramやホームページのブログの更新が不定期なので、頻度をあげる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		保護者の方の要望等を参考にしながら企画を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	職員間での周知や必要な訓練を行っている。	マニュアルについては、ホームページに記載しているのみなので、訓練や研修の際には保護者の方にも発信を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		策定した業務継続計画に基づき、必要な避難訓練を実施している。令和7年度は9月と3月に実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		初回のアセスメントの際に、服薬状況や体質（アレルギー等）について、またその対応について確認している。	年齢とともに症状が軽減したり、新たに症状が現れるものもあるので、年度の変わり目等に確認を行う。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食事提供は行っていないが、課外活動で調理等があるため、対象となる食材等は事業所内で使用していない。	お弁当交換等がないよう食事の際は注意を払う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		ホームページに掲載とともに折に触れ発信する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを集め、毎月1回ヒヤリハットの共有と是正を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		計画通りに、定期的に虐待防止研修を行い、全職員が参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に契約書に基づき対応を説明している。		